

かお・人・interview

2025年9月11日

団体長
 インタビュー


地域と共に歩み 誇りと技術を 未来へつなぐ建設業

一般社団法人 福岡市土木建設協力会

城本 哲也 会長

福岡市土木建設協力会では今年5月、新会長に城本哲也氏が就任。インフラ整備や災害対策など、地域の守り手として建設業界が果たす役割は重要さを増している。今後、協力会としてどのように地域と向き合い、業界の魅力発信や人材育成などの課題に取り組んでいくのか。その方針について新会長に話を伺う。

会長就任にあたっての抱負

私たち建設業界は、インフラ整備や災害復旧、そして日常の安全・安心を支える「地域の守り手」として、福岡市の発展に欠かせ

ない存在です。その使命と誇りを再認識し、建設業の魅力や社会的役割を、若い世代や広く市民の皆様発信してまいります。また、福岡市ご当局との連携をこれまで以上に強化し、災害時の迅速な復旧対応や、持続可能なまちづくりに積極的に参画していく所存です。

現在、建設業界は担い手不足や働き方改革、そしてデジタル技術の導入（DX）といった大きな転換期にあります。当会としては、ニーズを踏まえたセミナーの開催、各種情報の提供等により会員企業の皆様をしつかりとサポートし、魅力ある職場づくりや生産性向上への取り組みを後押ししてまいります。

▲福岡市道路下水道局水防訓練



こうした方々に団体活動の重要性を伝え、やりがいや意義を感じてもらえるよう、研修や交流の機会など環境整備に努めたいと考えております。

これまで先輩方が築いてきた福岡市との強固な連携も引き続き大切に、組織の更なる発展と地域貢献を目指して活動を進めてまいります。

業務の課題と未来

課題は大きく分けてふたつあります。ひとつは、人材不足が深刻化しており、いかにして新たな人材の確保・育成を進めていくかという点です。この一環として、今年初めて福岡市道路下水道局が主催する「みらい建設フェスタ」に参加しました。子供たちを対象としたイベントで、建設機械の操作体験など、整理券を配るほど賑わいました。われわれの仕事は主に地下で行われ、完成後は人々の目に触れることがありません。そのため、仕事内容や意義が一般の方に伝わる機会は限られています。今回のイベントを通じて、社会との交流や業界の魅力を発信できたことは大きな意義がありました。このような取り組みが、将来の担い手の育



◀みらい建設フェスタ

今年度の事業計画

成につながることを期待しています。もうひとつは、災害発生時の対応についてです。現在、各地域の会員企業が対応していますが、豪雨被害は西部地域に集中する傾向があり、特定会員への出動要請が偏重しています。このため、災害対応について仕組みの見直しを進めています。



▶献血運動

●会員企業が、建設DXを推進し、業務負担の軽減や作業の効率化により生産性向上を図るとともに、労働者の処遇改善や働き方改革を推進できるよう、会員に対して各種情報提供、ニーズを踏まえたセミナーの開催などにより、技術革新への対応や会員全体のレベルアップを図るなどの手助けを行う。（福岡市の協業マッチングイベントへの参加、セミナー開催）●担い手不足の解消に向けて建設業の魅力発信に積極的に取り組む（みらい建設フェスタ参加）●災害協定に基づく災害出動体制の見直し●福岡市発注工事を受注、施工するにあたり請負業者の抱える問題

制度的・実務的な改善、解決に尽力

協会の事業方針と主な取り組み

（一社）福岡市土木建設協力会は、福岡市内に本店を置く土木建設業者で構成された一般社団法人であり、地域社会の安全・安心と建設業界の健全な発展を目的に活動しています。主な業務として、会員企業を対象としたセミナーの実施、施工管理や災害対応に関する調査・研究、情報提供などを通じて、会員企業のサポートのほか業界全体の技術力と安全意識の向上に努めています。

また、福岡市と締結した防災協定に基づき、地震や風水害などの災害時には迅速な応急対応を行い、応急復旧作業などにあたる体制を整えています。さらに、飲酒運転撲滅運動や献血活動、福岡市主催のイベント参加などの地域貢献活動にも積極的に取り組み、地域とのつながりを大切にし、ながら、公共の福祉向上にも寄与しています。

団体を担って意識していること

当団体は会員数107社、設立から75年の歴史を刻んでまいりました。このたび54歳で会長に就任いたしました。11名の役員の中では下から2番目の若さです。私の下には年下の役員が一人しかおらず、次世代を支える若い人材の不足に懸念を抱いています。今後は若手経営者にも積極的に団体運営へ参画していただき、次世代リーダーとなる人材の発掘・育成に一層力を入れてまいります。当団体には「二十日会」という、40代前半や30代の意欲ある若手経営者の集まりがあります。

します。

市に対する要望

今後も福岡市のインフラ整備や災害復旧を担うためには、建設業の経済的安定が不可欠です。そのため、公共工事については、計画的な発注や、適切な設計・積算の実施が引き続き重要となります。また、担い手の確保・育成やDX・ICTの導入支援、週休二日制の導入に際した現場や工期の実情に合った柔軟な制度運用、必要経費の的確な補正など、現場の負担を軽減するための施策も求められています。

趣味や健康法など

趣味は、バイクでツーリングを楽しむことです。高校時代から乗り始め、現在は大型バイクに乗っています。安定性とパワーが魅力で、このクラスの走行感覚は手放せません。最近仕事で忙しくなかなか長時間は乗れませんが、週末には近場を1～2時間ほど走っています。風を切って走る爽快感は何よりのリフレッシュになります。車も好きですが、どちらも操作する感覚が心地よく感じます。



PROFILE
（一社）福岡市土木建設協力会
会長。（株）城建設代表取締役社長。
福岡県出身、54歳。

社会貢献活動

1. 教育・研修・安全（各種講習会等、安全大会等）
2. 調査・研究（技術・技能・経営の向上を図るための調査・研究等）
3. 会員への情報提供（法改正、通達、運用基準等）
4. 行政（福岡市）との協働（防災教室の開催、献血運動等）
5. その他（会員施工現場付近での防災看板掲示の推進等）